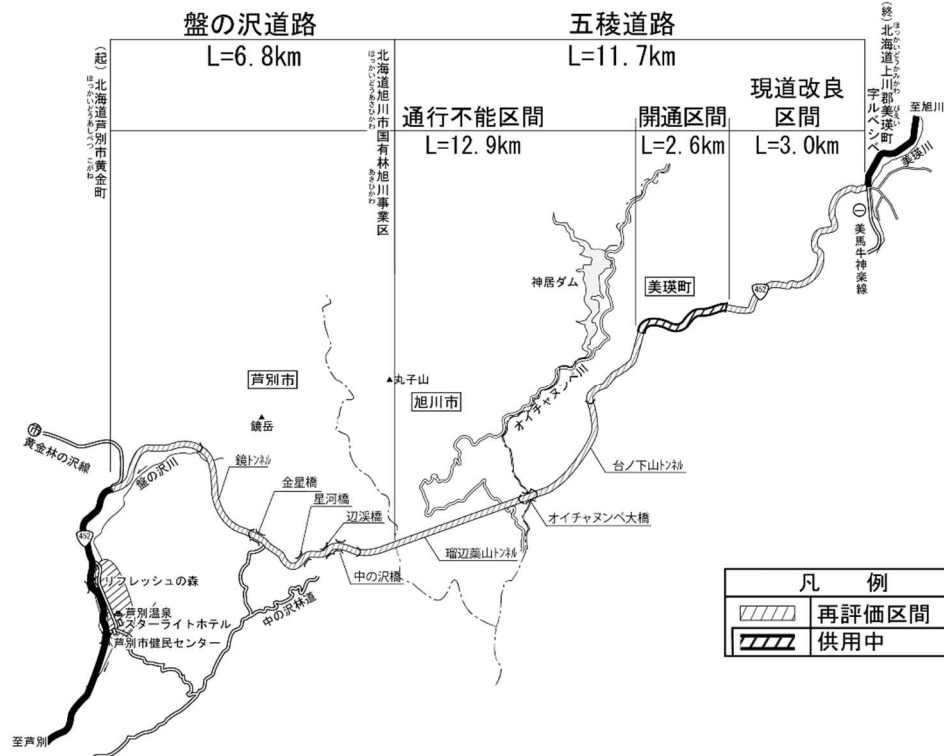


担当課長名: 西川 昌宏

事業名	一般国道452号 盤の沢道路・五稜道路			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道芦別市黄金町（盤の沢道路起点） 至：北海道上川郡美瑛町字ルベシベ（五稜道路終点）					延長	18. 5km
事業概要							
国道452号は、夕張市を起点とし、旭川市に至る幹線道路である。 盤の沢道路・五稜道路は、芦別市と美瑛町間の通行不能区間の解消を図り、地域間交流の活性化及び物流効率化等の支援を目的とした、芦別市黄金町から上川郡美瑛町字ルベシベに至る延長18. 5kmの事業である。							
H5年度事業化		H－年度都市計画決定 (H－年度変更)		H6年度用地補償着手		H5年度工事着手	
全体事業費	約645億円 (盤の沢道路：約328億円) (五稜道路：約317億円)		事業進捗率(令和6年3月末時点) (盤の沢道路) 約69% (五稜道路) 約19%		供用済延長		2. 6km
計画交通量		4, 300台／日					
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 352/684億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 451/451億円		基準年
	0.7		(事業費：315/633億円)		(走行時間短縮便益：416/ 416億円)		令和6年
	0.99 [2%]	2.3%	(維持管理費： 36/ 52億円)		(走行経費減少便益： 34/ 34億円)		
	1.2 [1%]		(更新費：－/ 一億円)		(交通事故減少便益：0.72/0.72億円)		
	(残事業)	(残事業)					
	1.3		感度分析	(事業全体)		(残事業)	
1.8 [2%]	5.6%	交通量		B/C=0.6～0.7(±10%)	交通量	B/C=1.2～1.4(±10%)	
(参考) 2.2 [1%]		事業費		B/C=0.6～0.7(±10%)	事業費	B/C=1.2～1.4(±10%)	
			事業期間	B/C=0.6～0.7(±20%)	事業期間	B/C=1.3～1.3(±20%)	
事業の効果等							
事業の必要性及び効果							
① 通行不能区間の解消 ・上川中部圏と中空知圏を結ぶ新たなルートが形成され、所要時間短縮が図られることによる移住・定住促進や交流人口拡大などが期待される。							
② 拠点空港への利便性向上 ・旭川空港1時間到達圏市町村人口が更に1. 3万人増加するなど、周辺市町村から旭川空港への利便性向上が期待される。							
③ 新たな周遊ルートの形成を支援 ・芦別市と富良野・美瑛観光圏及び旭川空港を結ぶ新たな周遊ルートの形成を支援することで、芦別市を含む周辺市町の観光入込客数増加が期待される。							
④ 災害時の緊急輸送ルートの強化 ・富良野市と高次医療機関等の交通拠点を結ぶネットワークが形成されるなど、災害時の緊急輸送ルートの強化が期待される。							
⑤ 物流効率化により地域産業を支援 ・工業団地と旭川空港とのアクセスが容易となるうえ、マスタープランの基本戦略である新規需要の拡大と物流効率化が期待される。							
⑥ 合宿誘致による地域活性化の支援 ・新千歳空港や旭川空港からのアクセス利便性が向上することで、合宿受入増加や多様な交流人口増加に伴う地域活性化が期待される。							
⑦ 救急搬送・通院の安定性向上 ・芦別市から旭川市の高次医療施設への新たな安定性の高い搬送ルートが確保され複数のネットワークが形成されるなど、救急搬送及び通院の安定性向上が期待される。							

⑧ 農産品の流通利便性向上 ・輸送時間が短縮され、余裕をもった出荷工程が組めるようになるなど、農産品の流通利便性向上が期待される。	
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 旭川市など6市2町の首長等で構成される「一般国道452号建設促進期成会」等より整備促進の要望を受けている。 知事の意見： 「一般国道452号 盤の沢道路・五稜道路」事業を「継続」とした「対応 方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、通行不能区間の解消により、地域間交流の拡大及び物流の効率化、災害時の緊急輸送ルートの強化が図られ、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層の徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	
事業評価監視委員会の意見 当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成19年 3月 一般国道38号 芦別バイパス開通 ・平成19年10月 北海道横断自動車道 トマムIC～十勝清水IC開通 ・平成20年11月 一般国道38号 赤平バイパス開通 ・平成21年10月 北海道横断自動車道 占冠IC～トマムIC開通 ・平成23年10月 北海道横断自動車道 夕張IC～占冠IC開通 ・平成30年 5月 道の駅びえい「白金ビルケ」オープン ・平成30年 7月 富良野・美瑛観光圏整備実施計画認定 ・平成30年11月 旭川十勝道路 富良野道路開通 - 旭川空港国際ターミナル開業 ・令和 2年 1月 北海道7空港民間運営開始 ・令和 4年 3月 旭川十勝道路 旭川東神楽道路部分開通 - 北海道横断自動車道 トマムIC～十勝清水IC間暫定2車線区間における4車線化事業化 ・令和 6年 3月 北海道横断自動車道 追分町IC～夕張IC間暫定2車線区間における4車線化事業化	
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成5年度に工事着手して、盤の沢道路の用地進捗率70%、事業進捗率69%、五稜道路の用地進捗率95%、事業進捗率19%となっている。 （令和6年3月末時点）	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き、早期開通に向けて事業を進める。	
施設の構造や工法の変更等 引き続き、コスト縮減に取り組んでいく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値